

不 断 の 努 力



山形県

和合道場

小学6年 池田結子

私にはずっと続けていることが二つあります。一つは剣道、もう一つは書道です。どちらも私にとって大切なものです。

剣道ではたくさんの先生方と仲間がいてみんなで汗を流して稽古しています。先生方には正しい技や礼儀、心の持ち方など色々教えていただいています。たくさん試合に出ましたがなかなか勝てません。ずっと一緒に稽古している友達にも負けてしまいます。それでも頑張っていればきっと強くなれると信じて続けてきました。

そんなある日の稽古で私は足首の靭帯をけがしてしまいました。お医者さんに診てもらって「しばらくは安静にしてください。治ってきた頃にまた動かすとすぐに同じ状態に戻ります。一か月ほどは絶対に無理をしないでください。」と言われました。

なかなか強くなれない、勝負に勝ちたいと頑張っていた時に、長い間休まなければならなくなりました。私が休んでいる間にも仲間は一生懸命稽古している。どんどん力の差が広がっていく。私は一人取り残されていくような気持ちになりました。初めは焦りを感じていましたが、だんだん諦めが変わり、練習をしない毎日を過ごしていると、以前のような稽古に戻ることが嫌になってきました。いっそのこともうやめてしまったほうが楽だと思うようになりました。

そんな、剣道から離れていた時期にも、書道の教室には通っていました。書道は剣道と同じくらい上達することは大変だと思います。それでも今私がうちこめるものはこれしかないと思い、人一倍頑張りました。何枚書いてもうまくいかない。うまくいきそうになっても、一文字だけが、一本の線や、一つの点だけがどうしてもうまくいかない。もうそのくらいでいいじゃないかとささやく私もいましたが、その私を押し返して、何枚も何十枚もひたすら書き続けました。そしてようやく納得いくものができ、それを展覧会に出品しました。結果は金賞に加え特別賞を頂きました。その受賞した文字は「不断の努力」という言葉です。

母はこの受賞をととても喜んで、こう言ってくれました。「この言葉はあなたにぴったりだね。不断の努力とはどんな時もたえず努力すること。冬の寒い日も、夏の暑い日も、今日はさぼりたいなどと思った時も、うまくいなくてもうやめたいと思った時も、それでも諦めずに本当によく頑張ったね。小さい頃から頑張って続けてきた不断の努力の結果だよ。おめでとう。」

とても嬉しかったです。でもとても嬉しかったのですが、同時にその努力から逃げてしまいたいと思っていた剣道のことがすぐに頭に浮かびました。私の通っている道場は冬は信じられないくらい寒いし、夏も長時間、面をつけていられないくらい暑くて本当にぐったりします。それでも仲間と頑張っていて稽古してきました。今日は剣道に行きたくないという日が何度もありましたが、友達も頑張っているから私も頑張ろうと、気持ちを励まして稽古に行っていました。しかし、長い間お休みすることになり、頑張ろうという気持ちも失せてきていました。そしてそんな時に書道で、何枚も何枚もあきらめずに書き上げた「不断の努力」という作品に賞をいただき、母にかけられた言葉で弱い自分に立ち向かっていたことを思い出しました。「あ、そうだ、ここが勝負だ。勝負の相手は試合の相手でもなく友達でもなく私自身だ。よし勝負だ。」

私はもう一度挑戦することを選びました。

久々の道場の扉はとても重く感じました。でもこわかったけど思い切って扉を開けて礼をして、以前のように大きな声で挨拶をしました。「こんばんは」

負け続けていた自分に久々に勝利した瞬間でした。

断えず努力することは本当に難しいです。弱い自分に負けることもあります。でも私は諦めません。中学に進んでも剣道で書道で自分を鍛え、不断の努力で、私は、私自身に挑戦し続けていきます。